

1. 件 名：電気事業連合会との面談

2. 日 時：令和5年8月23日（水）11：00～11：20

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

志間安全規制管理官（研究炉等審査担当）、島田総括係長

電気事業連合会

原子燃料サイクル事業推進本部長 他1名

5. 要 旨

原子力規制庁から、電気事業連合会に対し、IAEA が主催する輸送安全基準委員会（TRNSSC）において、各輸送容器に収納できる核燃料物質等の上限値（IAEA 放射性物質安全輸送規則（SSR-6）の第2表（放射性核種の基礎的な数値））が見直される動きがあることを紹介した。今後、各原子力事業者に対し、SSR-6 第2表の見直しに伴う影響調査を配布資料を用いて実施する予定なので、電気事業連合会が電力各社に調査を発信し、回答の取りまとめを行うよう依頼した。

これに対し、電気事業連合会から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料：IAEA 放射性物質安全輸送規則（SSR-6）の第2表（放射性核種の基礎的な数値）改定により見込まれる影響の調査（依頼）

以上